

令和元年度 第1回伊勢市産業支援センター運営協議会 議事録

- 1 日 時：令和元年7月23日（火）10：30～11：30
- 2 場 所：伊勢市産業支援センター 研修室
- 3 出席者：委員10名
事務局 商工労政課：課長、西村
産業支援センター：澤村センター長、土屋理事
向井事業担当、駒田創業コーディネーター
- 4 欠席者：5名
- 5 概 要：内容は以下のとおり。
議題
(1) 平成30年度事業結果について
(2) 令和元年度事業経過報告
(3) 伊勢市より事業紹介

○主な意見等

- ・三重テラス就労支援はどういう人が多かったのか？
→伊勢出身タレントをゲストに招いたことからそのファン層が3分の1程度。真剣に話しを聞きに来ている人は、3分の2程度。年代としては、20代、30代が多い。
- ・お金がかかるし困難だと思うがこの取組は、続けたほうがいいと思う。やっているのを知れ渡るまでに3年くらいかかる。伊勢はまとまりがある人が多いように思える。名古屋、東京等で毎年開催していれば、そういったイベントに伊勢出身の人が集まってくるように思う。そういったことも念頭にはたらきかけてもらえればと思う。
- ・人口が減ってきて成果として数が増えるのというのは非常に難しくなっているので、評価の基準を見直す必要があると思う。
- 今回の報告では、一つの目安として数値の推移を報告させていただいた。
今後、別の視点からの報告の仕方も考えていく。
- ・女性起業セミナー魅力的だった。今年度も実施していただければと思う。
→女性起業家の方を交えた講座を今年度も考えている。
- ・食の開発スペースについて、もう少し詳しく知りたい。
起業してからも利用できるのか？
→起業してからも利用できる。
- ・期間限定での利用になるのか

→申込み頂いた日での利用になる。

- ・しんきんビジネスフェアについて、出展者の選定はどういう風に行っているのか？

→募集をかけてほぼご希望どおり、8社くらいが出てくる。

- ・こういった商談会出展の取組は企業にとって良いと思う。

よろず支援拠点でも商談会の出展について、どこかで支援してほしいという相談がある。商談会出展への支援が減っている中、こういった取組は貴重であるのでPRを強化してほしい。

- ・最近企業は融資を受けるときにSDGsができているかの確認がある。例えば、トラックで運ぶところ、この区間からこの区間は電車で運び、その分の二酸化炭素排出量をどれだけ減らす、あるいは女性従業員の産休・育休取得を明確に公表する等といったことが求められる。そこで、SDGsを考えることで、新たな産業へ結び付けられないかと思っている。

- ・食の開発スペースに食のアドバイザーを揃えてはどうか。機械だけでなくアドバイザーに指導を受けることが出来れば良いと思う。

→センターの支援の中に取組んでいきたい。

有名講師に一時的に来ていただくことも検討していきたいと思う。

- ・借りるだけでなく使い方なども教えていただけたら助かる。

誰もが知っているような人をアドバイザーとすれば、センター自体の発信に繋がるのでは？

- ・例えば、食の応援団といったようなものを作って、気軽に情報交換できるような仕組みができればと考えている

- ・食品業界では、HACCPを取り組まないと商品を買ってくれないといった時代となっているが、HACCPの取り入れが難しい。保健所も支援してくれない。

センターでHACCPについても説明、支援いただければと思う。

- ・伊勢工業高校生は8割方地元で就職するが、特に保護者は名前が知れた企業に就職してほしいと思う。保護者に対しても、伊勢市の企業をもっと知ってもらわないといけない。

- ・行政の悪いところとして、産業は産業だけとなりがちである。もう少し視野を広げて、この施設を活用できればと思う。

- ・伊勢伝統工芸保存協会としても、伝統工芸振興に対し、より努力していく。

- ・三重テラス就労支援について、こういったイベントでは三重テラスの使用は良いかと思うが、商談会、展示会になると使いにくい。三重テラスの2階まで来ていただけるような動線になっていない。

- ・よろず支援拠点のチラシを持ってきたが、わかりやすい。企業支援について、事業所を回るよりも、来てもらうという風に変わってきたのではないか。

(よろず支援拠点の説明)

- ・富士 Biz や岡 Biz のように他の産業支援センターを見ても、来てもらうといった風潮がある。現状、小さい企業は大変。いろんな支援で助けただければと思う。
 - ・食の観点から行くと、ナショナルチェーンが増えてきている。例えば、回転寿司チェーン店でいくと企業を維持していくことが非常に困難とを感じるが、そういったところを産業支援センターが支援して欲しい。
 - ・（市事業について）今年、三重県企業を対象に企業が直接デンソーに行って自社技術や製品をデンソーにアピールするといった展示会方式のイベントがある。
 こういった展示会に使えるのか？
 - ・（この展示会について）デンソーと取引がある企業が参加するのか
 - ・デンソーと取引がない企業が自社の技術をアピールする。伊勢の企業が自社の技術をアピールする良い機会。ただ参加するのにお金がかかる。補助があれば参加する企業はあると思う。今年3年ぶりか4年ぶりに三重県にまわってきた。
- デンソーでの展示会については、来場者がデンソーの社員であるが、対象となるかは商談会補助金の交付要綱の「来場者」をどのように解釈するかによる。
- ・前の運営協議会でも言ったが、一つブースを借り上げて、出してはどうか。
 一つ伊勢市産業支援センターや伊勢市で借り上げて、10社出展する等。
 長野県などは県で10ブースを借りて出展していたりする。
- 昨年まで観光の課にいた。他の自治体の観光の課でも市や県、エリアで一つ大きく借りて、複数出展するということをやっていた。数社合同で出展するのに際し、一定の負担料を支払っていただくというのもある。来年度の予算化に向けて研究させていただければと思う。
- 資料のリフォーム補助金について、予算に達したとあったが、消費税増税もあり、非常に早いタイミングで利用いただいている。現在、補助金の補正対応を考えている。